

ニュースリリース

 2018-BD-167
 2019年1月23日

2019年度上期路線便数計画を策定 ～仙台ネットワークを拡大～

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:浅井孝男、以下 IBEX)は、2019年度上期(サマーダイヤ期間:2019年3月31日～10月26日)の路線便数計画を策定しました。

これまで IBEX は、リージョナルキャリア事業を通じて地方都市間の交流促進と地方経済の活性化に貢献するべく、ネットワークの強化と最適化を推進してきました。

2019年度上期においては、7月1日(月)より仙台⇄成田線の運航を再開します。これにより仙台空港における路線便数は合計7路線・1日15往復30便となり、仙台を拠点としたリージョナルキャリアとして、拠点機能の更なる強化を図ります。

IBEXは全路線において全日本空輸株式会社(以下 ANA)とコードシェア提携を行っており、仙台⇄成田線においてもコードシェアを開始します。成田空港において ANA 国際線との接続を図り、インバウンド・アウトバウンド双方向の交流促進を図ります。

2019年度上期路線便数計画の概要は以下の通りです。

記
1. 2019年度上期(サマーダイヤ期間:2019年3月31日～10月26日)路線便数計画

路線	3/31～6/30 計画/日	7/1～10/26 計画/日	備考
合計	30 往復 60 便	31 往復 62 便	
仙台 ⇄ 成田	-	1 往復 2 便	7/1～再開
仙台 ⇄ 札幌(新千歳)	2 往復 4 便		
仙台 ⇄ 名古屋(中部)	2 往復 4 便		
仙台 ⇄ 小松	2 往復 4 便		
仙台 ⇄ 大阪(伊丹)	2 往復 4 便		
仙台 ⇄ 広島	2 往復 4 便		
仙台 ⇄ 福岡	4 往復 8 便		
札幌(新千歳) ⇄ 松山	1 往復 2 便		
成田 ⇄ 小松	1 往復 2 便		
成田 ⇄ 広島	1 往復 2 便		
名古屋(中部) ⇄ 松山	1 往復 2 便		
名古屋(中部) ⇄ 福岡	1 往復 2 便		
名古屋(中部) ⇄ 大分	2 往復 4 便		
大阪(伊丹) ⇄ 福島	2 往復 4 便		
大阪(伊丹) ⇄ 新潟	3 往復 6 便		
大阪(伊丹) ⇄ 福岡	1 往復 2 便		
大阪(伊丹) ⇄ 大分	1 往復 2 便		
福岡 ⇄ 新潟	1 往復 2 便		
福岡 ⇄ 小松	1 往復 2 便		

2. 新路線運航計画

路線	便数	実施時期	運航ダイヤ(7/1~10/26)				
仙台⇄成田	再開 (0→1 往復)	2019年7月1日	IBX34	仙台発	17:30	成田着	18:30
			IBX33	成田発	16:00	仙台着	17:00

- ※ ANA とのコードシェアを行います。
詳細は本日発表の ANA/IBEX 共同リリースにてお知らせいたします。

3. 使用機材

CRJ700(70席)

- ※ 路線便数計画及び新路線運航計画は政府ならびに関係機関の認可を前提としております。

以上